

~~~~~  
**国際理事会報告**  
 ~~~~~

## 2011年度ICD国際理事会報告

国際理事 橋本 光 二

2011年度の国際理事会は、2011（平成23年）11月10日から12日までSection VI インド・スリランカ・ネパールの主催でインド・ニューデリー市のHotel LaitとHotel Hans Plazaで開催された。国際理事会は米国で2年に1回ADA（アメリカ歯科医師会総会）開催地で、それ以外は米国以外のSectionが主催して開催されるのが通例である。

11月10日夜は恒例の国際理事懇親会があり、1年ぶりの再会となった執行部のメンバーや各sectionの国際理事、夫人達と旧交を暖めた。

翌11日は例年より早い時間の午前7時から国際理事会がSiroky会長の開会宣言の後、Lunn次期会長が祈りを捧げ開始された。今回の参加者はSiroky国際会長、Lunn次期会長、Aronson副会長ほか役員5名、国際理事25名であった。

多数の項目について報告があり、国際会費は2012年度からUS\$35に、Globeを担当するEditorのDr. HintermanがSecretary Generalに就任した為EditorはDr. Sydneyへ交替、ICDの公式LOGOが担当委員会から提案され決定された。カザフスタンが新しくRegionになった事からSectionやRegionの再編、国際本部からの情報発信の為に各sectionから蒐集した会員管理データベースの作成、現在世界で5億人以上が利用するFacebookを使って国際本部から情報を発信している事などが報告された。

午後は各委員会に分かれて討議が行われた。私の所属するCommunication Committeeでは各sectionの情報伝達の方法などが報告され会員各自への速やかな情報伝達を進める方法、とくに英語を母国語としない国に対する情報発信などが議論された。



国際理事会集合写真（Indian section主催学会の会場にて）



国際理事会 左端が橋本国際理事



新しく決定したICDのLOGO



国際理事懇親会にて。左から Seidemann元国際会長、橋本、Yang新副会長、Shiao台湾国際理事



伝統のインド舞踊

夜はインド部会会長招宴があり、アトラクションとして伝統のインド舞踊が披露された。

翌日も早朝から会議があり各sectionからの報告では、私から日本部会の活動について報告した。マスターフェローについて台湾部会からDr. Wan Hong Lan, Dr. Gwo Yang Wangのお二人、インド部会2名、ミヤ

ンマー部会からDr. Cho Sittの計5名の推薦があり、議論の結果承認された。2012年度国際理事会はサンフランシスコで10月に、また2013年度は成都市（中国）で開催される事が報告された。

最後に2012年度の新役員が決定され、新しく副会長にWoong Yang 韓国国際理事が推薦され承認された。

以上、予定の報告および審議事項は順調に進められ、最後にSiroky会長から2012年度Garry W. Lunn会長に対し恒例のGavelの引き継ぎがあり、新国際会長から各セクションに対し新しく作られたFlagが渡されて終了となった。

また今回は主催のIndian sectionが同時期に学会を開催しており、会議を中断し執行部、国際理事全員が開会式に参加した。